

２０２４年度 釧路市立高等看護学院 学校関係者評価

釧路管内においては、高校の卒業生数が２０１４年１，９３９人であったものが、２０２４年には１，４４２人と２６％減少するなど、少子化が急速に進む中、学生確保対策として、引き続き、釧路、根室、十勝、オホーツク地域の高校訪問、学院見学会や看護体験を実施し、情報発信もInstagram等で積極的に行っている。

一方で、依然として看護師不足は全国的な問題で、釧路地域においても大きな課題の一つでもあることから、今年度から復活した母体病院（市立釧路総合病院）全体で取り組んでいるオープンホスピタルなど、将来の看護学生となるべく学生の心をつかむ取組等との連携を強化して、看護師の魅力発信に力を注ぎ、安定した学生確保につなげてもらうことを期待する。

低評価となった「研究」については、今年度導入した電子教科書を使用した講義内容について、より一層研究を進めてもらうとともに、次年度は２０２３年度に導入した校務支援システムの検証を完了させ、その結果をもとに、看護教育に関する研究活動を積極的に行える体制づくりに努めてもらいたい。